

# 多彩な資材で便利に



軽トラ活用の幅を広げる資材も、さまざまなものが登場している。

カムサー(神戸市)が今年発売したのが「アオリ水平保持具」。軽トラのあおりを開いた状態で固定する器具で、あおりを積み降ろし時の作業台や、腰かけにできる。器具が地面に接地するタイプと接地しないタイプがある。接地するタイプは1基で100ポンド近くまで載せられる。非接地タイプは、荷台上に設置し、両側面のあおりを締め固定する。接地タイプに、オプションで上に伸びる支柱を付ければ、雨よけのシートなどを張る柱としても使える。価

## あおり固定 ■ 除草機楽に ■ 箱型コンテナ



カムサーの「アオリ水平保持具」(同社提供)。問い合わせは同社、☎078(950)9050

格は接地式で93500円から。美善(山形県酒田市)は、自走式の草刈り機の積み降ろしに使える「のぼりレールSSKB103」を販売する。草刈り機をレールの上に移動させ、レールごと荷台に上げ、荷台から降ろす際は、レールを引っ張り出すだけ。歩み板を持ち運ぶ必要がなくなり、荷台

箱明(はこあす、神奈川県三浦市)が2025年に発売するのが、荷台に載せて使う箱型コンテナ「箱明」だ。素材に発泡スチロールを使うこと

格は接地式で93500円

に上がる必要もない。

レールの横幅は、28ポ

ン。使う草刈り機の幅

に調整できる。重さは13

ポンドで、長さは1ポンド

90ポンド。価格は4万5100

円。

箱明(はこあす、神奈

川県三浦市)が2025

年に発売するのが、荷台

に載せて使う箱型コンテ

ナ「箱明」だ。素材に発

泡スチロールを使うこと

ことで、断熱効果が高

く、農作物を長時間新鮮

な状態で運べる。

重さ約150ポンド。左右

に大きく跳ね上がる構造

で、搬入がしやすい。内

部には、長さ60ポンド、幅

40ポンド、高さ20ポンドの

箱が40個まで積載でき

る。専用タブレットが標

準装備されており、コン

テナ内のカメラを通じて

農産物の状態や、コンテ

ナ内の温湿度を確認でき

る。天井には発光ダイオ

ード(LED)照明が付

いている。照明や温湿度

計などは、屋根に付いた

太陽光パネルから蓄電し

た電気稼働する。



美善の「のぼりレール」(同社提供)。問い合わせは同社、☎0234(2)317



2025年に発売予定の「箱明」(箱明提供)。問い合わせは同社ホームページ

▶軽トラを活用して実践している独自のアイデアがありましたら、取材班まで情報をお寄せください。メールeino@agrnews.co.jp

な状態で運べる。重さ約150ポンド。左右に大きく跳ね上がる構造で、搬入がしやすい。内部には、長さ60ポンド、幅40ポンド、高さ20ポンドの箱が40個まで積載できる。専用タブレットが標準装備されており、コンテナ内のカメラを通じて農産物の状態や、コンテナ内の温湿度を確認できる。天井には発光ダイオード(LED)照明が付いている。照明や温湿度計などは、屋根に付いた太陽光パネルから蓄電した電気稼働する。(おわり)

(後藤真唯子、森市優が担当しました)